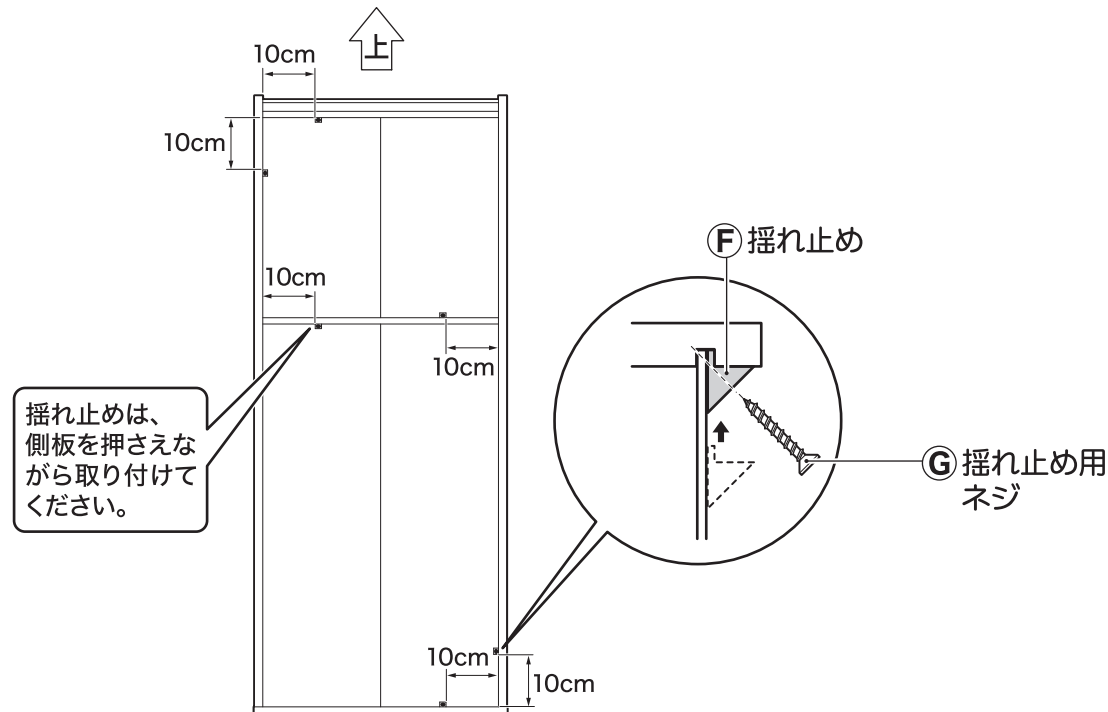
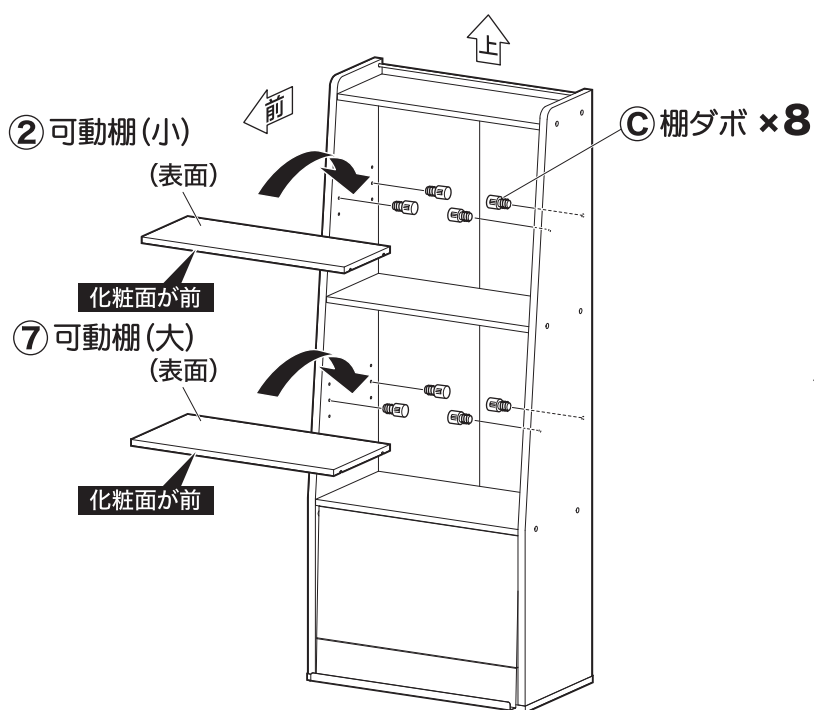


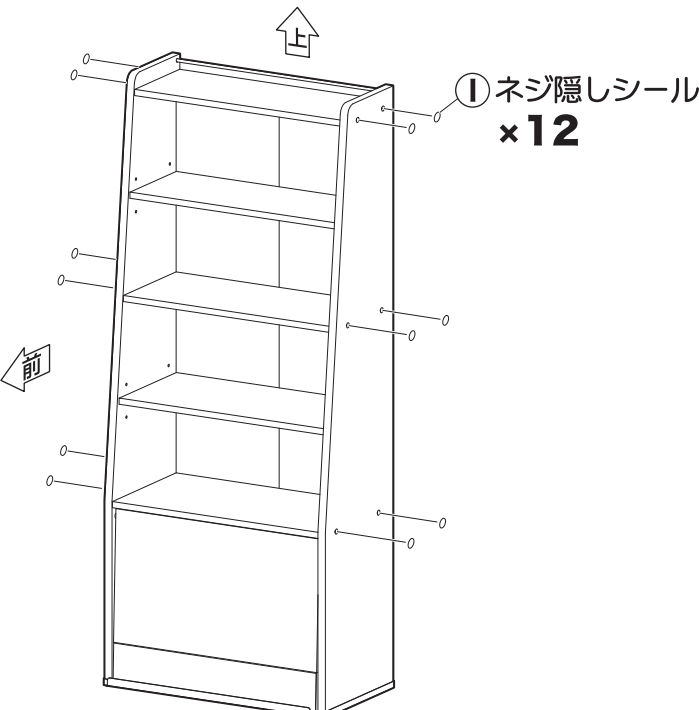
背板に ⑥ 揺れ止め×6を取り付けてください。



お好みの高さに棚ダボを取り付け、
② 可動棚(小)・⑦ 可動棚(大)を
セットしてください。



ネジ留め箇所 ① ネジ隠しシール×12を
取り付けて完成です。



※可動棚は収納物に合わせて高さ調整することができます。

組み立て完了後、確認してください

- ・ネジなどがしっかり締まっていること
- ・製品全体にゆがみやねじれ、がたつきがないこと

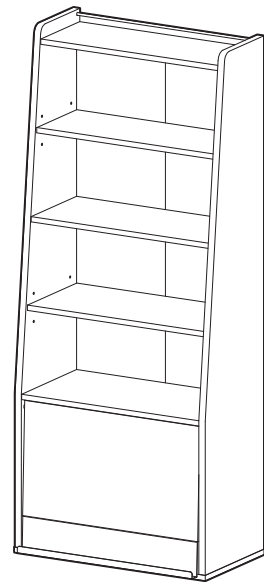
※イラストはすべてイメージです。

マガジンラック NA/BK

外形寸法：幅484×奥行282×高さ1179(mm)
甲板の表面材：プリント紙化粧パーティクルボード、
プリント紙化粧繊維板
表面加工：なし
材質：線材・取っ手 / スチール(エポキシ樹脂塗装)

耐荷重[全体]44kg[天板]5kg[固定棚]7kg
[可動棚]7kg[スライド扉]1kg[底板]10kg

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。



《完成図》

※イラストはすべてイメージです。

【組み立て前に下記注意事項を必ずお読みください】

このたびは本品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みの上、正しい使い方で末永くご愛用ください。この説明書は組み立て後も捨てずに、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管し、下記内容を十分ご理解ください。

⚠ 使用上のご注意

- 素材の特性上、開封時に臭いがこもっている場合があります。設置直後は部屋の換気を行ってください。
- 本品は屋内用です。
- 本品はご家庭用です。業務用での使用は避けてください。
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 乱暴な取り扱いはいししないでください。
- 商品の上にのったり、飛び跳ねたり、踏み台としての使用はしないでください。
- お子様の玩具として使用しないでください。
- 火のそばや水のかかる場所では使用しないでください。
- 熱いもの(加熱した鍋や湯沸かしなど)を直接上に載せないでください。
- 移動をさせるときは載せているものや収納しているものを除き、二人以上で床面を引きずらないようにしっかり持ち上げてください。
- 重いものや危険なものを載せないでください。また、手をついたり、偏った荷重や強い衝撃はかけないでください。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による故障・破損に対する補償などはいたしかねます。
- 商品に異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 廃棄の際はお客様の自治体の処理方法に従ってください。
- 製品の仕様は、改良により予告なく変更になる場合があります。

⚠ 設置場所のご注意

- ストーブなど、火気の近くに設置しないでください。
- 直射日光の当たる場所での使用は避けてください。
- 必ず水平で安定した固い床面に設置してください。
- 床材の種類によっては、色移りや変色する恐れがありますのでご注意ください。
- 床面がフローリングなどの場合は、敷物の使用をおすすめします。
- 地震などによる転倒を防止するために、別途金具などで処置を施してください。

保守・点検のお願い

- 日常のお手入れは柔らかい布に水を浸して固く絞り、表面を拭いてください。
- 水分・油などが付着した場合は素早く拭き取ってください。
- 著しい汚れを落とす場合は中性洗剤を薄めた液を柔らかい布につけ、拭き取った後、水拭きをしてください。
- 漂白剤やアルコール・ベンジンなどの薬品は使用しないでください。変色や色落ちの原因になります。
- ネジ類はその取り付けが確実にぐらつきがないか定期的に点検してください。

組立上のご注意

- 電動ドライバーは使用しないでください。部材や部品が破損する恐れがあります。
- 組み立ての際は、ネジ類をゆるく仮締めし、組み立て完成後に仮締めした箇所をしっかりと締めてください。
- 軍手の着用をおすすめします。手や指をはさむなどのケガにご注意ください。
- 床面や商品にキズなどがつかないように、ご注意ください。
※布や段ボールなどを敷いて組み立ててください。
- ネジやその他の部品には類似しているものがあります。形状・数量をご確認の上、組み立ててください。間違った部品を使用しますと商品の破損の原因となったり、組み立てできない恐れがあります。
- 部品の形状や色などは生産の時期などにより異なる場合があります。

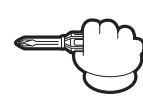
ご準備ください 組み立てに必要な工具類が準備されているか、ご確認ください。



軍手

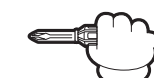


あて布



プラスドライバー

ご注意ください 組み立てのネジの締め付けで、下記のマークが記載されている箇所は必ず「仮締め」で行ってください。



仮締め

始めから締め付けすぎると後の組み立てに支障がでる場合があります。

ご注意ください



電動ドライバー使用不可

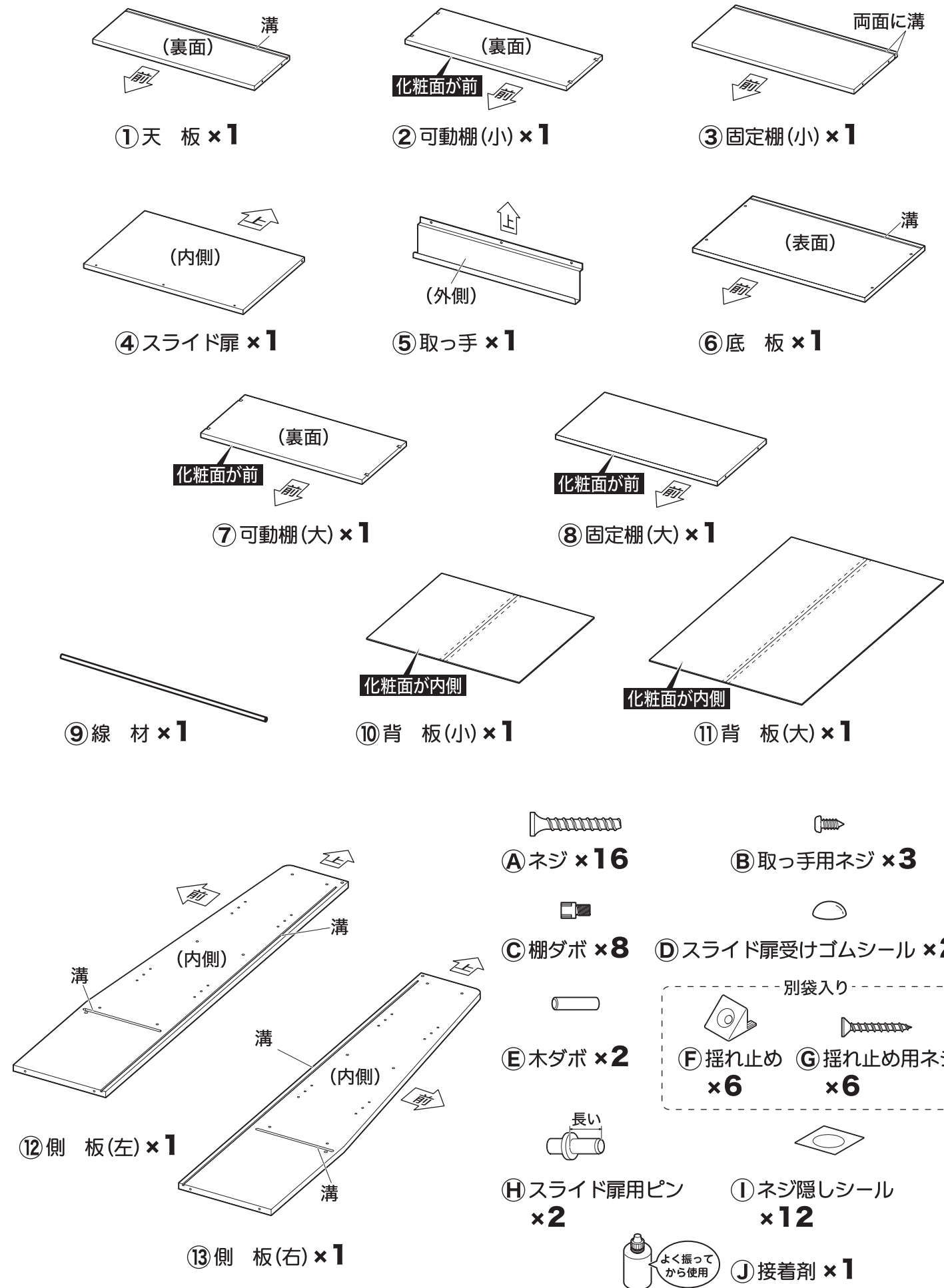


指はさみ注意!



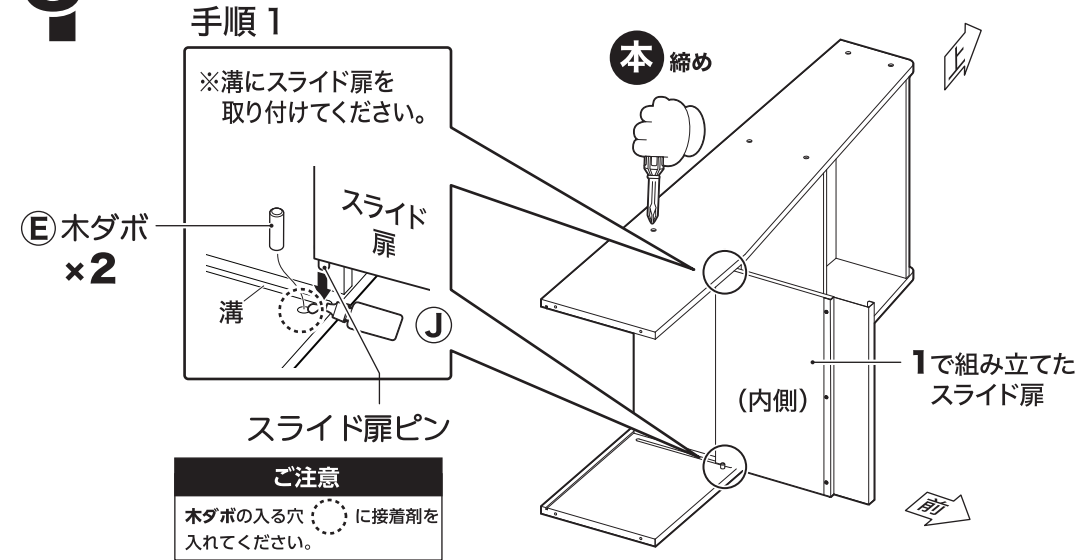
組立2人以上

部材・部品



5 1で組み立てたスライド扉を取り付けてください。

手順 1



手順 2

4で仮締めしておいたネジを本締めしてください。

ネジの本締めの方法は

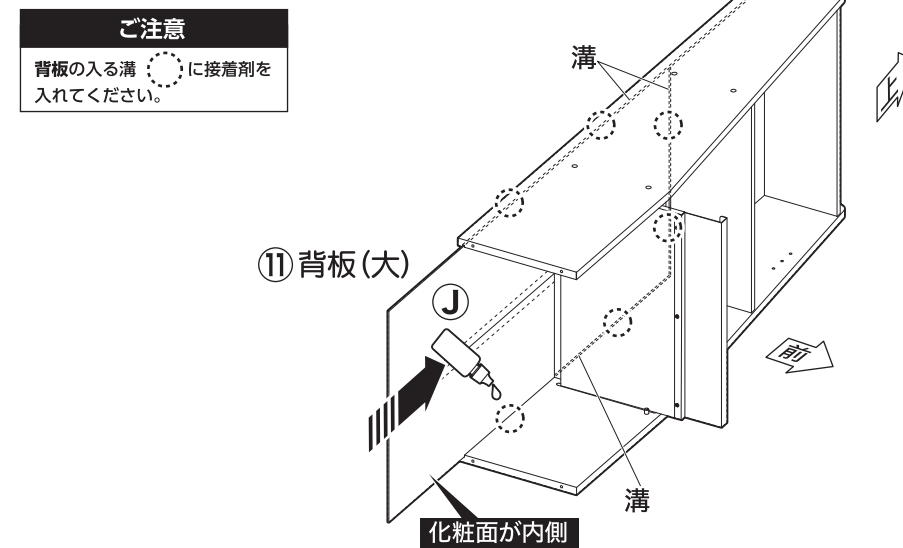
36 の

ネジ締めする際のご注意
をご参照ください。

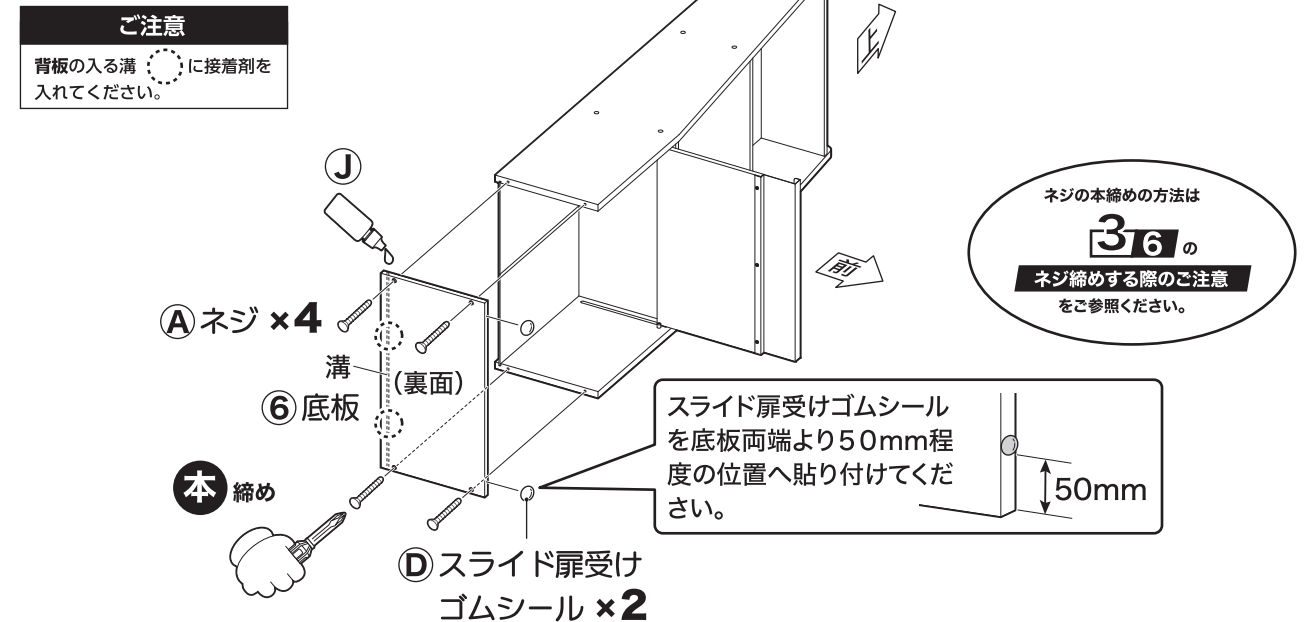
ご注意

スライド扉は本体を起こす
まで破損しないようしっか
り支えておいてください。

6 ⑪ 背板(大)を差し込んでください。



7 ⑥ 底板を取り付けてください。



—はじめにお読みください—

ネジ締めする際のご注意

- ①  電動工具はご使用にならないでください。



電動工具を使用するとネジや部材が破損する恐れがあります。

- ②  ネジは最初は「仮締め」し、最後に「本締め」してください。



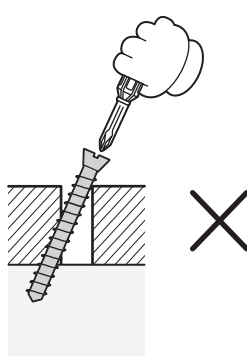
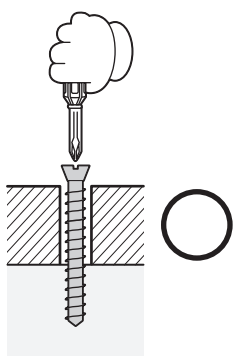
最初は
仮締め



最後に
本締め

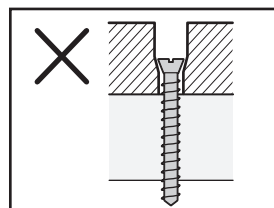
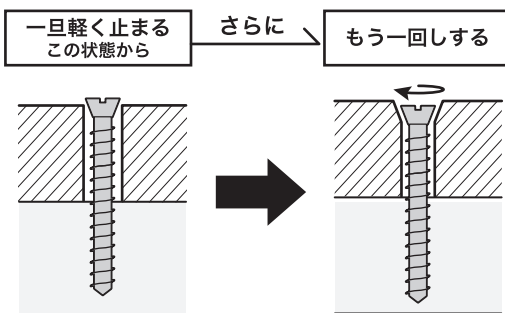
始めから締め付けすぎると後の組み立てに支障がでる場合があります。

- ③  ネジは部材に対し垂直に締め付けてください。

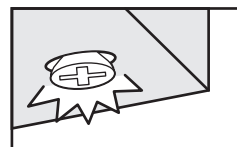


- ④  ネジを締め付けすぎたり、緩くならないようにご注意ください。

ネジは部材に対して水平になるくらい(少し固くなる程度)にし、回しすぎたり、緩くならないようにしてください。



回しすぎ、入れすぎにご注意ください。



ネジ締めが緩く、ネジが出ていると床面を傷つけてしまう恐れがあります。

- ⑤  ネジ類は定期的に点検してください。

ネジ類はその取り付けが確実でぐらつきがないか定期的に点検してください。

1

B 取っ手用ネジ × 3

H スライド扉用ピン × 2

(内側)

長い

上

④ スライド扉

⑤ 取っ手

ご注意

スライド扉用ピンの
をスライド扉側にさ
さい。

スライド扉用ピンの長い方をスライド扉側にさしてください。

2

① 天板 (裏面)
③ 固定棚 (小)
⑧ 固定棚 (大)
⑬ 側板 (右)
④ ネジ × 6
⑤ 仮締め

3

ご注意
背板の入る溝  に接着剤を入れてください。

4

ご注意

木ダボの入る穴  に接着剤を入れてください。

⑨ 線材

⑩ 背板(小)

化粧面が内側

両面に溝

溝

溝

前

Diagram 9 illustrates the step of attaching the back plate (small) to the frame. A vertical line material (⑨ 線材) is shown being inserted into the frame. The back plate (⑩ 背板(小)) is shown being attached to the frame, with the decorative side (化粧面が内側) facing inward. The back plate has grooves (溝) on both sides. A screwdriver (J) is shown tightening a screw into the back plate. A dashed line indicates the alignment of the back plate with the frame. A label '前' (Front) points to the front of the frame.

ご注意

木ダボの入る穴 () に接着剤を入れてください。

⑫ 側板(左)

溝 (外側)

① ネジ × 6

前